

舞鶴から希望の京都をつくろう！ ～地域力の創造と市民の幸せを目指す～

# 京都府議会議員 池田まさよし 通信 [第11号]

〒624-0853 舞鶴市南田辺71番地1 TEL:0773-77-1722 FAX:0773-77-1723 ホームページ <http://www.ikedakai.net>

また、九月定例府議会では観光や伝統産業支援などの地域経済対策や防災対策などを盛り込んだ約七億五千万円の九月補正予算を審議。主なものは、①観光客に地元商店街で買い物をしてもらう目的のフリーペーパー作成に二千七百万円、②受注が増加傾向にある織物業の設備投資支援に三千万円、③中小企業人材確保のための短期的なインターンシップに二千万円、④身近な道路損傷や小規模な

皆様には、平素から池田まさよしの活動に對しまして温かいご支援とご指導を賜り、心からお礼を申し上げます。

さて、舞鶴市は昨年の台風一八号豪雨と、今年の八月豪雨と二年連続して被害を受けました。被災されました皆様に衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興のため全力で取り組んでいきます。京都府議会は八月二十九日臨時議会を開催し、八月福知山市を中心に被害をもたらした豪雨災害からの復旧・復興関連の事業費を盛り込んだ総額百三十六億五千二百万円の一般会計八月補正予算を審議し、時機を逸することのないよう対応しました。



京都府議会議員 池田正義



河川改修などの公募型公共事業費に五億円の増額、⑤より詳細な土砂災害避難情報発令のための地域ごとの地形や地盤などの調査研究に五百万円などを予算化しました。

いずれにしましても、現在の府内の経済・雇用情勢をみますと、消費税の引き上げによる反動減の影響は想定内とされているものの、個人消費の減退など小売業を中心に回復基調に弱さがみられます。府民の安心・安全と地域経済の活性化のため、今後とも、皆様のご意見を府政に届けていきます。



決算特別委員会

**平成二十五年度 決算特別委員会 委員として活動中**

(十月七日～十一月四日) 文化環境部書面審査より

【質問】昨年四月に与謝の海病院が府立医科大学北部医療センターとして附属病院化され、久美浜病院との病院提携の締結、また、舞鶴共済病院が医大関係病院になるなど、様々な支援をいただいているが、北部の医療充実に向けた今後の取り組みを伺います。

【吉川府立医大理事長】北部地域に拠点があったことは大きな意味を持つ。大学から北部医療センターに派遣し、そこを拠点に地域の病院に人材を派遣している。舞鶴地区においても、四つの病院を一つの病院群としそれぞれの病院に専門性を持たせ、四病院間にバスも巡回している。舞鶴市民病院はリハビリ中心にいくことになり、医師も動くし、患者さんも動いていただき、最適の医療をうけていただくことになっている。将来的にはカルテも一つにするなど、患者さんの利便性の向上を図っていききたい。

## 2014年 8月~10月 池田まさよし 活動報告



9月1日 震災後の名取市視察



9月2日 環境モデル都市・つくば市視察



9月9日 クルーズ船ダイヤモンドプリンセス号歓迎



9月25日 林業活性化協議会議に出席



8月29日 山田知事へ要望書提出



10月19日 市長杯全舞鶴ソフトボール大会



10月21日 決算現地視察(砂防堰堤)



9月28日 旧平・野原小学校区敬老会



10月4日 花道展にて



10月5日 志楽消防団表彰調査



10月13日 舞鶴赤れんがハーフマラソン2014

### 池田まさよし事務所 ご案内

西事務所 (舞鶴市南田辺71番地1)



池田まさよし 事務所

TEL(0773)77-1722 FAX(0773)77-1723  
オープン時間 10:00~16:00 [m.ikeda@kyotofugikai.jp](mailto:m.ikeda@kyotofugikai.jp)

西舞鶴駅より徒歩3分です。京都北部信用金庫舞鶴中央支店、国道27号線をはさんで向かいです。駐車場は事務所前または西駅市営駐車場をご利用下さい。

11月9日(日)告示

## 11月16日(日)は 舞鶴市議会議員選挙の投票日です

投票時間 午前7時~午後8時まで

必ず投票に行きましょう!

期日前投票もご利用下さい

事情により投票日当日、投票所に行けない方は、期日前投票ができます。

- 11月10日(月)~投票日前日の11月15日(土)までの毎日、午前8時30分~午後8時まで 市役所本庁、西支所2階、加佐分室にて投票ください。



いつでもお気軽にお立ち寄り下さい。市民の皆様からのご意見・ご質問も受け付けております。

# 九月定例会 一般質問に立つ

## 海の京都観光圏で示せ中丹・丹後の地域振興を！

【質問】 府北部七市町は、本年七月に観光庁から全国で十か所のうちの一つとして「海の京都観光圏」に認定され、平成二十七年のターゲットイヤーを目前として観光地域づくりを進めているが、今後の観光振興施策に関し、「海の京都観光圏」が目指すビジョンや進め方について、伺いたい。

【知事答弁】 「海の京都観光圏」についてですが、「海の京都」は中丹・丹後エリアの地場産業や農林水産業の振興、地域間交流の強化、街並み景観の保持、保全など、中長期的な視野で、地域の



総合的な力を強化し、観光にも大きな効果をもたらせるものです。このため、農林水産業や繊維業の振興につながる地元産品の開発や、北近畿タンゴ鉄道の再生、そして各市町の戦略拠点整備など多方面の改革に取り組むとともに、モデルツアーや体験コースなどの造成で多くの方がこのエリアを訪れ、周遊・滞在型の観光地域へと進化を進めます。

また、「丹後あじわいの郷」を「食の王国センター」としてリニューアル、「海の民学舎」を漁協と協力して設置し担い手を育成、また、「観光地域づくりマネージャー」に認定された地域リーダーを中心に、「オール海の京都」体制によって主体的に取組んでいきます。

京都縦貫自動車道が全線開通する「海の京都」のターゲットイヤーであります。来年度は、北陸新幹線の金沢までの開業や北近畿タンゴ鉄道の新しいスタートも控えています。「海の京都」の魅力、効果的にメディアを使いながら、京都縦貫道の全線開通イベントや、来年度「海の京都博」を開催して、地域へ多くの方にお越し頂くように「海の京都」を通じて、丹後・中丹地域の振興に全力を尽くしていきます。

【質問】 「海フェスタ京都」での舞鶴〜伊根間遊覧船の運行は、変化に富んだ自然景観を眺めるものであり、大変好評であった。遊覧コースとしては「海の京都観光圏」の戦略拠点である赤れんがパークと伊根舟屋群を結ぶ舞鶴東港からの出港、また、赤れんが棧橋では「海軍ゆかりの港めぐり航路」と、伊根では「天橋立行き航路」と接続するなど、「海の京都」にふさわしいルートである。航路の実現に向けた取組を伺いたい。

【質問】 「海フェスタ京都」期間中の七月二十一日に、舞鶴〜伊根間において、二便の遊覧船を運行し、百二十九名の方にご利用いただきました。ご利用いただいた方々からは、「陸路よりも早く、伊根まで行けた。船も快適で、大きな揺れもなかった。景色もよく飽きなかった。冠島、杵島も見えた。伊根町でのおもてなし（岩ガキ、サザエの壺焼き、とろてん）が良かった。」などの声がかかれ、非常に好評でありました。



## 舞鶴市と伊根町を結ぶ観光遊覧船の運航を！

【答弁】 「海フェスタ京都」期間中の七月二十一日に、舞鶴〜伊根間において、二便の遊覧船を運行し、百二十九名の方にご利用いただきました。ご利用いただいた方々からは、「陸路よりも早く、伊根まで行けた。船も快適で、大きな揺れもなかった。景色もよく飽きなかった。冠島、杵島も見えた。伊根町でのおもてなし（岩ガキ、サザエの壺焼き、とろてん）が良かった。」などの声がかかれ、非常に好評でありました。

日帰り観光をより経済波及効果の高い滞在型観光へと転換していくためには、広域の回遊システムの整備が不可欠であることから、平成二十六年八月には、天橋立・宮津と伊根を結ぶ航路について、京都府・地元市町が船の改修費の一部を支援し、丹後海陸交通により、新たに開設されました。さらに、経済効果のある観光圏の形成のためには、委員御提案の舞鶴東港と伊根とを結ぶ新航路の開設についても検討が必要であります。宮津・伊根航路の乗船状況やマーケティング調査等でニーズをしっかりと把握した上で、例えばクルーズ船寄港時にモニターツアーとして実施できないかなどについて、関係者と協議を進めます。

## 安心して農業を続けられる環境づくりを！

【質問】 舞鶴市加佐地区では、今回の豪雨を含め十年間で三度の洪水被害があり、経営基盤が不安定な若い農家は、災害リスクの少ない場所での農業を切望しており、舞鶴市はリスクの低いハウス団地の整備に向け適地選定等を始めたが、事業化までには時間がかかる。災害発生に備え、農地の嵩上げ工事などの改良事業等を農業者経営復興特別支援事業の対象に加え、より安心して農業を続けられる環境づくりを支援すべきと考えるがどうか。また、万願寺甘とうをはじめとする京野菜を畑作物共済の対象に加える必要があると考えられているか。

【答弁】 加佐地区をはじめとする由良川沿岸地域は、河川水位が高く、地形上、水害が発生し易いところです。こうした地域では、湛水の早期排除のため、嵩上げ工事も含め、ほ場整備による対策が有効であり、市内の近傍二地区で実施し、効果も出ています。ただ、現行整備水準では、十年に一回程度の降雨に対応しており、今回の八月豪雨のような数十年に一回程度の降雨に対しては限界があります。このため、昨年「援チーム」を組織し、農家と対話しな



【質問】 中丹地域医療再生計画について、現在の中丹地域における北部医療センターとの連携のための事業の進捗状況はどうか。また、平成二十七年七月に舞鶴医療センター内に舞鶴休日急病診療所を開設する予定と聞かれますが、舞鶴市では、開業医の高齢化などから、医師確保が困難な状況にある。舞鶴市の休日急病診療所に対する医師確保支援についてお聞きしたい。

## 中丹地域医療再生計画の推進及び舞鶴休日急病診療所に医師派遣を！

【質問】 中丹地域医療再生計画について、現在の中丹地域における北部医療センターとの連携のための事業の進捗状況はどうか。また、平成二十七年七月に舞鶴医療センター内に舞鶴休日急病診療所を開設する予定と聞かれますが、舞鶴市では、開業医の高齢化などから、医師確保が困難な状況にある。舞鶴市の休日急病診療所に対する医師確保支援についてお聞きしたい。

【答弁】 この計画は舞鶴市内の公的病院の特徴を活かしながら、機能分化と相互連携を図り、全国のモデルとなる医療提供体制の構築を目指すものであり、来年度中には、舞鶴医療センターや、舞鶴こども療育センターなど、全ての事業が完了する見込みです。さらに、公的病院の連携ネットワークを構築するため、昨年四月に設置された舞鶴地域医療連携機構を核として、システム整備を進めており、今月中にも、CTなど医療用診断画像の共有化や、また、災害時における通信網を確保するための衛星通信機器を利用したネットワークが開始される運びとなり、こういった連携ネットワークにより、診療機能の更なる向上が期待され、将来的



舞鶴医療センター／舞鶴こども療育センター／休日急病診療所 建設中